

千葉県の教員になった皆さんへ

千葉県教育委員会 教育長 杉野 可愛

千葉県の公立学校教員に採用された皆さん、おめでとうございます。

「学校の先生」という素晴らしい職業を志し、千葉県を選んでくださった皆さんを心から歓迎するとともに、私たち「チーム千葉」に素敵な仲間が増えたことを嬉しく、心強く思います。

これから同じチームの一員として、千葉の子供たちの未来をつくっていく皆さんに、私から4点、お願いしたいことがあります。

1点目は、子供たちが千葉県で生まれ育つことに誇りと自信を持って成長していけるよう指導してほしいということです。

千葉県は、豊かな自然と温暖な気候、首都東京に隣接する立地を生かし、農業・水産業・商工業のバランスの取れた産業県として発展し、首都東京のみならず日本全体の成長を支えてきました。今後、人口減少や少子化の一層の進行が予測される時代においても、ふるさと千葉県が地域の活力を維持していくためには、将来にわたって地域を支える人材の育成が不可欠です。地域の産業や雇用を支える人材、地域を基盤として世界でも活躍していける人材を育てていくことは、公教育の重要な使命です。

まずは、皆さん自身に、千葉県の歴史や産業、魅力を知っていただき、それらをしっかりと伝えることで、子供たちが千葉を好きになり、その子供たちに未来の千葉県を築いていく自覚と誇りを持ってもらいたいと思います。

2点目は、子供たち一人一人の長所を見いだし、可能性を広げてほしいということです。

令和7年3月に策定した「第4期千葉県教育振興基本計画」では、「人生をしなやかに切り拓き、千葉の未来を創る「人」の育成～一人一人が可能性を最大限に伸ばし、自分らしく活躍するために～」を基本理念として掲げています。

この基本理念の実現に向けて、皆さんには、周囲への感謝と他者を敬う気持ちを忘れず、それを言葉や態度で表現することを心掛けるとともに、子供たち一人一人の長所を見付けて、可能性を引き出す力を身に付けてほしいと思います。皆さんのそうした言動が子供たちに伝わり、思いやりのある健やかな心を育てることにつながると 생각합니다。

そのためには、毎日の挨拶や声掛けを通して、子供たちの小さな変化、ささやかな成長を発見し、「何かあったの?」「頑張ったね。」などと、言葉で伝えてあげられる先生になってもらいたいと思います。皆さんのそうした言葉や振る舞いが子供たちに伝わり、一人一人の自己肯定感や自信を深めるとともに、他者への気遣いや感謝の心を育むことにもつながります。

また、多くの子供たちは、悩みや不安を先生に相談します。子供たちが発しているSOSにいち早気付き、校内の先生方や家庭、関係機関と連携して必要な支援につなげることも、教員の大切な役割です。千葉県では令和5年度に、県立高校の生徒が教員との関係に悩み、アンケート等で訴えていたにも関わらず学校がそれに気付かず、生徒は自ら命を絶つという、あってはならない事案が発生しました。二度と繰り返してはなりません。この事案の後、県立学校の全生徒を対象に行ったアンケートの中で、生徒から「教員と生徒という関係以上に、一人の人間としてお互いを尊重すること」という提言がありました。皆さん1人1人が、常にこの言葉

を心に留めて生徒に接してください。

3点目は、常に信頼される教員であってほしいということです。

皆さんに求められる第一の資質、それは「信頼」です。子供たちが先生の言葉に耳を傾け、保護者の方々が安心して学校に子供を任せてくれるようになるには、何よりも信頼関係を築いていくことが大切です。しかし、この信頼を一瞬にして壊してしまうものが「教職員による不祥事」です。教職員による事件や事故は、決してあってはなりません。日々、様々な立場の教職員が、子供たちの安全と笑顔を守り、可能性を広げるために、熱心に教育活動に取り組んでいます。皆さんを信じている子供たちや、真剣に子供たちと向き合っている仲間の存在を、決して忘れてはなりません。

教育公務員としての使命感とゆるぎない遵法意識を持ち、子供たち一人一人に目を向けながら、日々の職務に当たってください。

最後の4点目は、皆さん自身の健康管理です。

近年、全国的に、心身の健康を損ねてしまう教職員が多く見られることから、働き方改革が進められているところです。仕事に対する使命感は大事ですが、自らの健康があつてこそ、良い仕事ができるものです。

今日の学校が抱える課題は複雑化しています。ベテランの先生であっても、これまで経験したことのない問題に直面することが少なくありません。ましてや経験の浅いうちは、様々な課題や悩みがあつて当然です。一人では解決できないこともたくさんあります。同僚、先輩、管理職の先生方に何でも相談してみてください。

学校は一つの「チーム」です。そのことを忘れず一人で抱え込まないようにしてください。

明るく元気な皆さんの姿は、子供たちにとって何よりの活力になります。

また、同じ初任者同士で悩みを相談し合ったり、情報交換したりすることで、心が軽くなることもあると思います。これからの研修の機会をうまく生かしてほしいと思います。

これからの教員生活の中で、個性あふれる様々な子供たちと出会うと思います。困難な境遇の中で必死に生きている子供たちも少なくありません。一人一人に温かいまなざしを向けて、可能性を見付けてあげてください。先生が子供と真剣に向き合おうとする姿勢は、きっと子供たちに伝わります。

「学校はブラック」とよく言われますが、「学校ほど色とりどりでカラフルな職場はない。」と、あるベテランの先生がおっしゃいました。未知の可能性を持つ子供たち一人一人が、自分だけの色を発しているから、学校は多彩な色に満ちていて、決して黒一色ではないということなのでしょう。そして、子供たち一人一人の持つ色が輝きを増すよう光を当ててあげるのが、教員の仕事であり、それは他のどんな職業よりも魅力的でワクワクする仕事だと思います。

県教育委員会としても、皆さんが心身ともに健康で、やりがいをもって仕事に取り組めるよう、研修の充実や校務の負担軽減などの取組を進め、バックアップしてまいります。

皆さんが日々の業務を通じて子供たちとともに成長し、子供たちから慕われ、保護者や地域の方から信頼される教員となることを信じ、ともに歩んでいきたいと思います。

皆さんの健康と、これからの活躍を、心から願っています。